

おおたの教育

第98号

大田区教育委員会広報

平成21年(2009年)
1月1日発行

今月の主な内容

- 1面 委員 それぞれの思い
- 2面 特色ある教育活動
- 3面 大田区立小・中学校PTA60周年
- 4面 矢口西小の通学区域一部変更
学校給食への緊急支援

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 大田区蒲田五丁目13番14号 TEL. 03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>



「絆(きずな)」

高山 美智子 (委員長)

私の好きな言葉の1つが「絆」です。絆とは、断とうにも断ち切れない人と人の結びつきです。

人が生まれるときには、親と子の絆も生まれます。人が生きる上には、先生と生徒、仲間同士など、さまざまな絆が生まれます。

昨年は秋葉原での殺傷事件をはじめ、理不尽な犯罪が多くなりました。そして、その犯行理由として「親を困らせたかった」「親を恨んでいた」というものも多くなりました。親の心子知らずだと思います。

どの親も子どものことは深く思っています。誰もが一人ぼっちではないはずなのに。

最近、相手の気持ちをおもひかえり力が弱くなったのでしょうか。「いつも、あなたのことを思っている」と言葉にして言わないと伝わら

なくなったのでしょうか。親と子は、何よりも強い絆でつながっているはずなのに。

保護者の皆さんにお願いします。時には言葉にして、時にはぎゅっと抱きしめて、その思いをお子さんに伝えてください。



子どもフェスティバル08にて、青少対矢口地区阿部会長と

「私は思う」

野口 和矩 (委員長職務代理)

大田区ほど、地域と住民が密着した住みよいまちづくりをしているところは、あまりないだろう。

卵が先か、鶏が先かの論議ではないが、「教育委員会があって区立学校があり、先生がいて児童・生徒がいる。そして、保護者がいて地域社会が存在している」というと、あまり不自然な感じはしない。

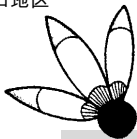
でも、よく考えてみると「社会には地域という場所があって、そこに家があり、家族が住んでいる。親・保護者が子どもを育て学校に通わせ、児童・生徒がいて先生が教えている。だから、教育委員会が存在している」のではないだろうか。

子どもには、教育が必要です。



教育委員会定例会にて

したがって、子どもたちが、社会において、伸びのびと成長できるように、教育委員会は、地域と住民の、すべての教育に係わる環境づくりの応援団であれば良いと「私は思う」。



「大田の小学校・中学校の君たちへ」

櫻井 光政 (委員)

大田の学校をもっともっと良くしたい。そして、君たちには、生きるための知恵と力と勇気をもつ、誇り高い人間になってもらいたい。学校の勉強も生きて知恵や生き抜く力を養うために必要なものだ。学校の勉強など社会に出て役

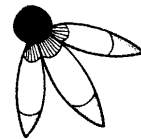
に立たないという人がいるが、間違いだ。中学までの勉強は、生活に役立ち、生活を豊かにするための知恵に満ちている。

だから、真剣に学んでほしい。競争もどんでんすべしだ。ただ、それは勝敗だけにこだわって、他人の失敗を喜ぶような情けないものであってはならない。力のある者と競うことを喜びとするような切磋琢磨する関係が大切なのだ。

私たちは、君たちが学び育つ環境をより良くするために尽くしたい。先生方はもちろん、地域の皆さんや、君たちのご家庭とも手を携えて、君たちの成長を手助けしていきたい。君たちが、大田の小学校・中学校を卒業して良かったと思えるように努力していきたい。



小池小にて、PTAや地域の方を対象とした講演



未来にはばたけ おおたの子ども

新年にあたり、各委員の教育にかける思いを紹介します。



「私の中学時代」

清水 繁 (教育長)

私の中学校時代は平和でゆとりのある日々だったように思う。学校には規律があり、教師の授業力は優れ、人柄も含め私は敬意を払っていた。しかし子どもたちの通った学校には、意欲も力もないと思われる教師が何人かいた。だから、私は自分の学校時代を美化しているのではないかという疑問が残っていた。

先日、恩師3人の参加も得て、40数年ぶりに同窓会が開かれた。恩師と話す中



全区立小・中学校長を前に

で私の疑問は氷解した。思慮深く温厚で、一見仙人のような風格のK校長と教師の関係が話題になった。後に校長や大学教授になった恩師の話に要約すると、「K校長の朝礼などの話は含蓄に富み、メモを残して校長になってから利用した。子どもたちに語りかけるようで、実は教師にも考えさせようとしている内容が何度もあり啓発された。人権教育はすばらしく、学校全体で取り組んでおり、K校長しかできなかったと思う。相談に行くと意見を聞いた後、笑顔で自説を諄々と説いてゆき、いつの間にか納得をして校長室を後にしていた。」などである。

学校組織の内側が見えた思いがした。校長は教師を活かし、教師も校長を信頼し誇りをもって授業ができていたのである。私は、この学校体験を心に抱きながら、教育改革を進めたいと思う。



「健康で、伸びのびと」

渡邊 盛雄 (委員)

私は、嶺町小学校の学校医を20年以上しています。

今年度、嶺町小学校は60周年を迎え、地域の方と一緒に周年式典に参加しました。多摩川の流れて地域の皆様に囲まれて、伸びのびと育った顔見知り子どもたちの「よろこびの言葉」や心のこもった歌や演奏を聴いているうちに、私自身もその雰囲気の中に溶け込んでいました。

どの学校の周年行事に参加しても、地域とともに、学校が、子どもたちが成長してきたことを実感します。

さて、最近の子どもたちは昔に比べ体は大きくなっていますが、体力は低下しており、子どもたちの体力向上は大田区の課題の1つです。子どもの成長には、バランスのとれた食事や十分な睡眠時間は必要不可欠です。「早寝・早起き・朝ごはん

」とされていますが、子どもたちの基本的な生活習慣の定着には家庭の役割が重要です。また、基本的な生活習慣と学力の定着には密接な関係があるとも言われています。健康で、伸びのびと、地域の中で、みんなに見守られて、子どもたちには成長してほしいと思います。



嶺町小にて、移動教室前日の健康チェック



特色ある教育活動

「全国学力・学習状況調査」における意識調査結果を踏まえ、さらに昨年5月に実施した「大田区学習効果測定」において、学校の取り組みにより学力が顕著に伸びている事例を紹介します。

生活規律の定着と学習意欲の向上を目指して

東糀谷小学校 (宮田周二校長)

東糀谷小学校の校舎に入って、まず感心するのは児童のくつ箱です。すべての学年学級の靴が整然と並んでいます。授業中の教室を見て歩くと、どの教室でも先生の説明を熱心に聞く児童の姿を見ることができます。

東糀谷小学校では、学習規律や生活規律の徹底を図るため、年度初めに児童・保護者に対してオリエンテーションを実施しています。6年生のオリエンテーション資料には、1年間学習する各教科の目当てと、宿題や持ち物についての案内、そして、次のような《約束》が示されています。

《約束》

- ・リーダーとして責任をもって、正しい行動をする。
 - ・チャイムと同時に授業が始まるので、時間を見て動く。
 - ・学習に必要なものは持ってこない。
 - ・人の嫌がることをしたり、言葉を使ったりしない。
 - ・自分勝手な行動をしない。
- (チームワークを大切に!!)
- ・人の話を最後まで聞く。
 - ・自分の気持ちや考えを正直に伝える。
 - ・報告や相談を必ずする。(良いことも、悪いことも)



6年生の授業、意欲的に学習に取り組んでいます

この約束が守られるよう、教員は学年ごとの打合せを頻繁に行い、協同で子どもたちに指導を行っています。

また、わかりやすい授業を目指し、授業改善推進プランを作成、2ヶ月に1回成果を検証し、次に取り組むべきことを明らかにしています。全教員が年間を通して研究授業や公開授業を行い、さらなる指導力・授業力の向上を図っています。

放課後の補習教室・九九階段・言葉の掲示板など、校内の学習環境も整えています。算数では、毎授業の始めに行う5分間の計算プリントや週2回15分の朝学習に取り組んでいます。そして、子どもたちの課題である読解力を育むために、1・2年生では学期に2回の保護者による読み聞かせを実施、6月と11月にはボランティアによる全学年の読み聞かせの時間を設定しています。

今後も学習規律や生活規律の徹底を図り、地域と連携しながら、子どもたちの規範意識の定着と学習意欲の向上に取り組んでいきます。

学ぶ環境づくりは、全教科全教職員で

馬込東中学校 (平内利光校長)

馬込東中学校の朝は、毎日(月曜日を除く)、10分間の朝読書から始まります。朝読書は、生徒の読書への関心を高めるとともに、静かで落ち着いた雰囲気の中で授業を開始できる環境をつくります。また、始業のチャイムが鳴る前には、生徒も教員も教室移動を済ませ、しっかりと授業がはじめられる態勢を整えます。実際に教室を回ってみると、どの教室でも落ち着いた雰囲気の中で授業が行われています。

馬込東中学校では、「教員が授業力向上を図る」「全教科を通して学力向上をめざす」を大きな柱として、学



力を合わせ、校内研究に励んでいます

力向上の取り組みを進めています。

まず、教員の授業力向上では、「わかる授業の工夫」をテーマに校内研修に力を入れています。学期に1回、全教員が相互に授業を参観し、参観後は文系、理系、実技系のグループごとに、授業規律、授業展開、導入法、教材・教具、板書、話し方などの工夫について研究を深めています。また昨年9月には、グループごとに模擬授業(英語・理科・保健体育)も行いました。

次に、生徒に確かな学力の定着を図るため、日頃から補習を行い、基礎学力の定着に力を入れています。また、基礎の未定着な生徒や宿題未提出の生徒には、教員が指名して補習授業を実施します。さらに夏休みには、全教科が夏の学習教室を5~10日間実施し、3割程度の生徒が自主的に参加し、学習に取り組みました。

日々の授業の取り組みとして、国語・数学・英語では、漢字や計算、単語の反復練習を必ず行います。英語検定や漢字検定には、生徒の4割近くが挑戦しています。

そして、何よりも大切なのは、生徒が安心して学習できる環境づくりです。落ち着いた環境の中で学習できることはもちろんですが、子どもたちが安心して学校に通えるように教育相談の充実を図っています。各学期に実施する教育相談週間では、生徒や保護者が全教職員の中から相談相手を選んで、相談ができるようにしています。

今後も、教員が一丸となって、授業力の向上に取り組むとともに、生徒が安心して学習できる環境づくりを進めていきます。

全国学力・学習状況調査の結果から 「家の人と学校での出来事について 話をしていますか」 「朝食を食べていますか」

平成20年4月に実施した全国学力学習状況調査では、小学6年生と中学3年生を対象に国語、算数・数学の主として知識と活用の力を測定しました。結果は下の表のとおりです。

また、生活習慣についての意識調査も実施しました。その結果、教科の正答率が高い児童・生徒は生活習慣の中で「学校のきまりを守っている」「家の人と学校での出来事について話す」「朝食を食べている」「テレビ等の視聴時間」の項目と相関していることが明らかになりました。

大田区と東京都、全国の結果を比較したところ、「家の人と学校での出来事について話す」「朝食を食べている」の2つの項目で、小・中学校ともに肯定的な答えが下回っていることがわかりました。

小学校 平均正答率

	大田区	東京都	全国
国語(主として知識)	68.8	68.5	65.4
国語(主として活用)	53.4	54.1	50.5
算数(主として知識)	74.8	74.2	72.2
算数(主として活用)	55.6	55.7	51.6

意識調査

Q「家の人と学校での出来事について話をしていますか」			
	大田区	東京都	全国
している	37.9	39.2	38.7
どちらかといえばしている	29.4	30.7	30.5
計	67.3	69.9	69.2
Q「朝食を毎日食べていますか」			
	大田区	東京都	全国
している	86.3	87.7	87.1
どちらかといえばしている	8.6	7.8	8.3
計	94.9	95.5	95.4

中学校 平均正答率

	大田区	東京都	全国
国語(主として知識)	71.5	73.5	73.6
国語(主として活用)	58.1	61.4	60.8
数学(主として知識)	58.1	62.6	63.1
数学(主として活用)	45.4	48.9	49.2

意識調査

Q「家の人と学校での出来事について話をしていますか」			
	大田区	東京都	全国
している	23.3	25.5	25.9
どちらかといえばしている	30.7	31.4	32.0
計	54.0	56.9	57.9
Q「朝食を毎日食べていますか」			
	大田区	東京都	全国
している	75.8	80.0	81.1
どちらかといえばしている	13.5	11.2	10.8
計	89.3	91.2	91.9

表の数値は(%)

問合先 指導室指導主事

TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

大田区小・中学校PTA発足60周年

次代を担う子どもたちの教育のための活動

PTA活動のはじまり

大田区立小・中学校のPTA (Parent-Teacher Association) は、戦後復興の最中であり、新しい教育制度が始まった直後の昭和23年に発足しました。学校の施設も設備も不十分な状況の中、教員も保護者も一緒になって、校庭を整地し、廃品回収の収益で施設や設備を整え、次代を担う子どもたちのために教育環境を向上させようと活動に取り組みました。

社会は大きく変わりましたが、「子どもたちのために」というPTAの理念は、いままも生き続けています。登下校の見守りや夏休みの行事など、その時代に必要な活動をPTAは行ってきました。また、大人が家庭教育や学校、地域について学び場としての役割も果たしています。

家庭・地域・学校の連携と協力

平成18年、教育基本法に「第13条 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする」が加わりました。今日の社会情勢の中で、PTA活動は学校・家庭・地域を結び要として、その役割がますます重視されています。

現在、大田区内では子どもを地域ぐるみで守る防犯の取り組みや地元の商店街や企業での職場体験、ボランティア活動など、PTAを中心とした地域の大人が子どもたちの学習や体験活動を広げ、学校を支えています。そして、今後も学校の応援団として、地域・家庭・学校を結び橋渡し役として、PTAの活動とその役割は、さらに広がりと深まりを期待されています。



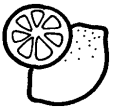
学校は自分たちの手できれいにしよう！
PTAとおやじの会が中心となり、夏休みに子どもたちと一緒に壁のペンキ塗りをしました。(大森第四中学校)

みんな地域の一員だ！

毎月1回、PTAと学校が一緒になって、地域清掃を行っています。清掃活動は、PTA・学校・子どもたちにとって大切な地域での役割の1つです。(入新井第一小学校)



60周年記念式典と講演会のご案内



「すべては子どもたちのために
今、地域のつながり合いを！」

子どもたちが感じていること！ 考えていること！

親として、わが子とどう向き合えばいいのか！

PTA活動の経験や子どもたちからの相談をもとに、

地域での取り組みを考えます。

(講師) **山本 シュウ**

ラジオDJ

「全国子ども電話相談室リアル！」メインパーソナリティ

元公立小学校PTA会長

『レモンさんのPTA爆談』著者

(日時) 平成21年1月17日(土)午後1時30分～4時

(会場) アプリコ 大ホール (大田区蒲田5-37-3)

(参加方法) 当日、直接会場にお越しください。



問合せ 社会教育課

TEL 5744-1447 FAX 5744-1539

これからのPTA活動

『AssociationからAreaへ』 大田区立中学校PTA連絡協議会
会長 田実昭二



大田区立中学校の設立と共に中学校PTA活動も60年を迎えました。戦後まだ物資のない時代にスタートしたPTA活動は、教室や校庭の整備からのスタートだったと聞いています。

そして今、時代の経過と共に生活環境が変化し、子どもたちの周りに物や情報が溢れ、犯罪の低年齢化やIT社会における新しいいじめの形態、増加するニート問題など、私たち中学生の親として取り組み解決しなければならない問題も変わってきています。

子育てはまず家庭の責任です。学力向上も当然大事なことです。人としての「豊かな心」を持つ子どもたちを育成していくことに取り組んでいくことが大切です。これからのPTAは、「A」の意味がAssociationからAreaへと変わり、家庭・学校・地域社会がそれぞれの役割を分担し連携しながら進めていくことが重要なテーマだと考えます。

『地域力を引き出すPTAに』 大田区立中学校長会会長
御園中学校長 大塚 洋

大田区立小・中学校PTAは、創立60周年を迎える。日頃から、学校教育に、健全育成にと、さまざまなご支援・ご協力いただいて来たことに心より感謝しております。

PTAの創立当時は、物資不足、財政難に向けての支援に重点が置かれていたと言われております。

今日では、学校行事などへの支援とともに、安全パトロール、朝の挨拶運動に象徴されますように、子どもたちの健全育成と安全確保に力を注いでいただいております。

ところで、時代の変化の激しい今日、教育活動もさまざまに変化、多様化し、地域との連携も、ますます重要視されております。そのような中、PTAは地域力を引き出す重要な役割を果たすものと期待するところです。

子どもたちが、地域で育ち、地域の人材として、そして、将来の日本を支える健全なる社会人となるよう、PTAと学校の連携は、ますます重要と考えます。

『きょう かん りょく』 大田区立小学校PTA連絡協議会
会長 藤崎雄三



時代の流れや価値観が徐々に「集団から個へ」「中長期から短期へ」と変わってきたことが、現在の家庭内での親子関係や学校内で起きている出来事にも、少なからず影響を与えているように感じます。

今、われわれ保護者や教職員が小学校6年間と中学校3年間の義務教育の中で「子どもたちに何を感じ取ってもらふべきなのか」という観点から今後のPTA活動を考えますと、大人であるわれわれ自らが、少し長めの時間観を持ち、共同作業を笑顔で行う姿を彼らに見せることではないでしょうか。“共感力より共汗力”つまり、一緒に感じているだけではなく、共に汗をかいて動くこと。それによってもたらされる、目に見えない成果や、その過程で得られる素晴らしさを若い世代に知らしめること。このテーマを活動の目的に置き、個々の保護者や教職員の智慧や力を吸い上げ、束ねて、形にしていくことが、今後のPTA組織に求められているものだと考えます。

『さらにはばたくPTAに』 大田区立小学校長会会長
雪谷小学校長 脇田 廣

今年創立60周年を迎えるPTAは、親と教師が協力して学校および家庭における教育に関し理解を深め、その教育の振興に努めることを目指して活動してきました。

やがて時代の変化とともに、学校の力強い応援団として、さまざまな課題ともに取り組んできていただきました。そうしたPTAの存在や活動は、私たち学校を預かる校長にとって、大きな心の支えになっております。

PTAの活動は、完全に無償であり、大いなるボランティア活動ですが、地域ぐるみの教育を進める上では、地域と学校との連携において、そのはたらきは重要です。

今後は、学校教育の評価者、生涯学習社会の実践機関として、学校教育へのより深い理解を背景にその活動が期待されます。大田区立小学校の教育推進のため、より一層のお力をいただきたいと思います。

表彰

□文化部門・学習部門

東京都小学校吹奏楽コンクール

【銅賞】

大森第四小学校吹奏楽クラブ



第58回全国小・中学校作文コンクール

【東京都教育委員会賞】

田園調布小 6年 横森萌々太

第56回東京都統計グラフコンクール

【東京都知事賞】

赤松小 4年 佐藤佳音

【東京都統計協会賞】

赤松小 5年 大森香菜・畠野実和水谷安希

安方中 3年 向井沙椰・吉田あやめ

【東京都教育委員会賞】

久原小 5年 平田菜緒・鶴美音
藤本萌香・志茂亨輔

【入選】赤松小 6年 三村京太郎

作文コンクール(東京都産業教育振興協会)

【最優秀賞】東蒲中 3年 今井藍

【優秀賞】馬込中 3年 岩森咲季

第52回東京都児童生徒発明くふう展

【特別賞】千鳥小 5年 井澤哲舜

東京都教育の日

【最優秀賞(ポスター部門)】

大森第四小 4年 米山綾香

IPA情報セキュリティー標語・ポスター

【銅賞(標語部門)】

梅田小 6年 小澤有里子

□スポーツ部門

第7回日本少年野球東京大会

【優勝】大田シャークボーイズ

【最優秀投手】

貝塚中 3年 仲佐大樹

第22回全日本小学生男子ソフトボール大会

【出場】矢東イレブンス

東京都小学生女子ソフトボール秋季大会

【優勝】東六クィーン

【準優勝】中富ソフト

東京都小学生男子ソフトボール秋季大会

【準優勝】松仙エンゼルス

【第3位】東六スターズ

第25回全国少年少女レスリング選手権大会

【第3位】赤松小 3年 田中彬義

入新井第二小 6年 米澤圭

□感謝状

東京都教育の日

【教育活動支援部門】

千鳥ファミリー2・6会
おおきな木の会

千鳥小学校での学校教育支援活動の実績に対して、東京都教育委員会から感謝状が贈呈されました。

人命救助

東調布中 3年

山下真之介・松本和也・山根洋
田中拓耶・本間大生・大長史俊

池上線踏切にて、自転車が転倒し怪我をされた方の救助にあたりました。

平成21年4月から

矢口西小の通学区域の一部を嶺町小・多摩川小に変更します。

矢口西小学校には現在1,000人余の児童が就学し、今後も児童数の増加が予測されます。教育委員会では、児童数がこのまま増加すると教室数が不足する事態が生じることから矢口西小学校の通学区域の一部を近隣の嶺町小学校と多摩川小学校に変更することにしました。変更後の通学区域は右の表のとおりです。

通学区域変更の対象となる児童は、平成21年4月に小学校へ入学する新1年生からです。ただし、対象となる1年生のうち、現在、兄弟が矢口西小学校の現1年生～現5年生に在籍している場合は、特例として矢口西小学校に入学ができます。この場合は、指定校変更の届出が必要となりますので、ご注意ください。

届出・問合せ 学務課学事係

TEL 5744-1429 FAX 5744-1536

新学区域表

	町丁名番号
矢口西小	下丸子一丁目 3～21番
	下丸子二丁目 1～12番、14～23番、25～32番
	下丸子三丁目 5～30番
	下丸子四丁目 2～20番、21番1号～10号
多摩川小	矢口一丁目 11～22番、27～29番
	矢口一丁目 23～26番
	矢口二丁目 全域
嶺町小	矢口三丁目 全域
	下丸子二丁目 13番、24番、33～36番
	鶯の木一丁目 2番、7番～9番
	鶯の木二丁目 1～4番、9～49番
小	鶯の木三丁目 全域
	西嶺町 35番
	田園調布南 1～16番
	下丸子四丁目 21番11号～18号
	下丸子四丁目 22番～23番、24番～27番

※太字の部分が矢口西小学校からの変更部分

めざせ！ 全国大会入賞！

2008年日本学生科学賞東京都大会

【優秀賞】紫外線と水による鉄・隕鉄・岩石の変化Ⅱ

南六郷中学校宇宙科学部

2年 小宮山馨・松下悟・小椋大地・安西辰彦

1年 高橋尚人 顧問 小森信男

「火星が赤いのはなぜか!？」

南六郷中学校宇宙科学部では、火星の岩石が赤い一因を見つける研究を7年間行っています。この研究は理科室に火星と同じような環境をつくり、その中で岩石がどのように変化をするかを調べる探求活動であり、研究を通してさまざまな新しい現象を発見しています。

現在の部員もこれまでに知られていない現象を見つけ、日本学生科学賞東京都大会や日本天文学会ジュニアセッションなどで発表をしてきました。昨年度は、精製水に浸った鉄や隕鉄に紫外線を照射して、変化を観察しました。その結果、水に浸った鉄や隕鉄は、紫外線によって酸化を促進されることが明らかになりました。今年度は昨年度の研究をより深く追求した結果、今回の優秀賞の受賞となりました。このような研究は、世界的にみても、たぶん南六郷中宇宙科学部以外では行っていません。

毎日同じような実験を繰り返し、結果を記録し続けるには、やる気と根気が必要です。部員たちは、中学生でも科学者と同様の研究を行い、自然科学の発展に貢献するという理念を抱いています。次にめざすは全国大会での最優秀賞です。目標に向かって、毎日着実にデータの蓄積を続けています。



安全で、おいしい学校給食を提供するために

学校給食への緊急支援を実施します

学校給食は栄養バランスと季節感を考え、手作りで提供しています。昨春以降、食材が高騰する中で、各学校では様々な工夫をし、給食の質の確保に努めてきました。しかし現状では、これまでの水準を維持することが困難と判断し、区は学校給食への緊急支援を実施することにしました。

□緊急支援期間

平成20年12月9日～平成21年3月末

□支援内容

米などの主食を公費で購入します。

□各学校への支援金額

小学校20円×児童数×給食回数

中学校30円×生徒数×給食回数

給食費 納付のお願い

保護者の皆様から納付される給食費は、全額食材の購入費に充てられます。給食費の未納は、学校給食の運営に支障を生じさせます。引き続き給食費の納付にご協力をお願いします。

問合せ 学務課保健給食係

TEL 5744-1431 FAX 5744-1536

教育委員会の主な議題

□平成20年第8回定例会

・幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 外2件

□平成20年第9回定例会

・区指定天然記念物の指定解除について

□平成20年第3回臨時会

・「大田区教育推進プラン」の評価

について

□平成20年第10回定例会

・大森スポーツセンターの指定管理者の選定について

・幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の施行規則

外5件

教育委員会定例会の開催予定日

□日時

平成21年1月22日(木)

平成21年2月18日(水)

平成21年3月27日(金)

□時間

いずれも午後2時から

□場所

本庁舎6階 教育委員会室

※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望される方は、あらかじめ、下記までご確認ください。

問合せ 庶務課庶務係

TEL 5744-1422 FAX 5744-1535